

マイクロフォン—雑感—

「新青年」一九二五年一二月

国枝史郎

青空文庫

「新青年」はすべからく「探偵小説新青年」と斯^こう改題する必要がある。

×

川田功氏の「砲弾を潜りて」は、日本のあらゆる戦争文学の中、第一位に置かる可^べき名作であつた。「尼港の怪婦人」に至つては、遺憾ながら稍^{やや}落ちる。

×

小酒井不木氏は「手術」を書いて、素人の域から飛躍した。しかし「遺伝」に至つては、学者の余技たる欠点を、露骨に現わしたものである。「犯罪文学研究」は、西洋物ほどには精彩がない。

近代文学とは如何なるものか？ 反逆性ある文学である。日本の探偵小説家に、反骨の無いのはウンザリものである。

トリック、トリック！ 解剖、解剖！ これだけでは近代の探偵小説とは云えない。

所謂^{いわゆる}刑事上の罪人なるものを、真の罪人と思ひ込んでいるのが、探偵小説家の悪い癖である。

ウエルシーニンの「死の爆弾」を、喝采謳歌しないような、探

偵小説家はヤクザである。さすがに前田河広一郎氏は、ウエルシ
ーニンを認めていた。

×

内容を変えることが出来なかつたら、せめて型でも破つてくれ。
日本の探偵小説家よ。

×

活動写真の筋書のような、「近頃読んだもの」は無くもがなで
ある。

×

モーリス・ルブランはお喋^{しゃべ}舌りに過ぎ、ビーストンは高踏的、
チエスタートンは固い道化で、ドイルは既に古くなった。

手淫芸術、幫間芸術、日本の探偵小説家は、その製造に忙しそ
うだ。

×

×

純芸術と称せられるもの、大方無気力の書齋芸術である。本当
の巷芸術は、謂う所の大衆文芸である。そうして探偵小説は大衆
文芸の一分派である。

×

大衆文芸の大衆の意義は？ 大は大勢の大であり、衆は民衆の
衆である。そうして民衆とは第四階級の謂だ。果然大衆文芸とは
大勢の第四階級の文芸ということになる。だが日本の探偵小説家

で、ここ迄^{まで}考えているものが果して幾人あるだろうか？

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社
2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「新青年」

1925（大正14）年12月

初出：「新青年」

1925（大正14）年12月

入力：門田裕志

校正：Juki

2014年4月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

マイクロフォン—雑感—

「新青年」一九二五年一二月

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 国枝史郎

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>